

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	811A SPECIAL EDITION	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.046	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：811A SE

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

4 インチ

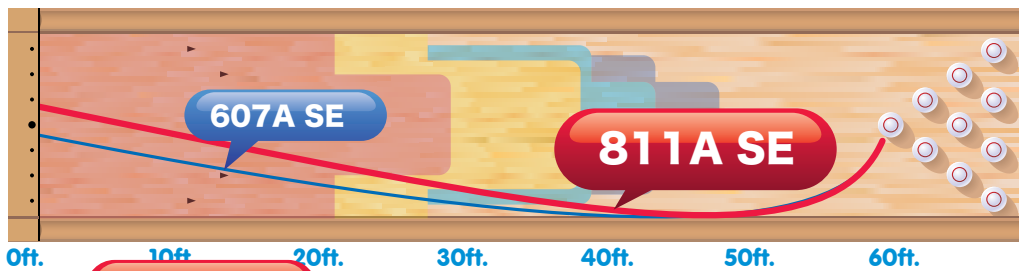
比較対照ボール：607A SE

フレアーの幅 インチ

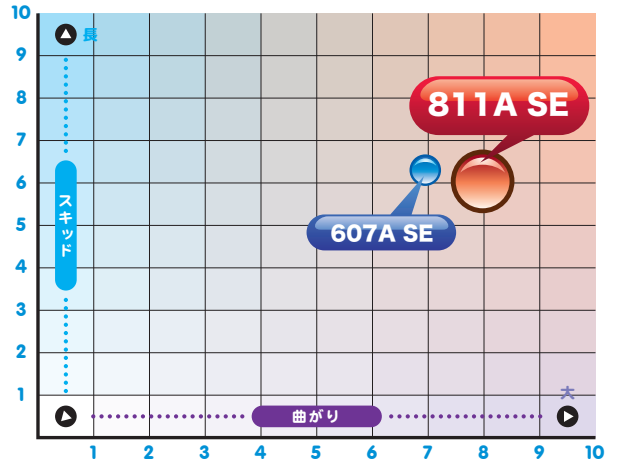
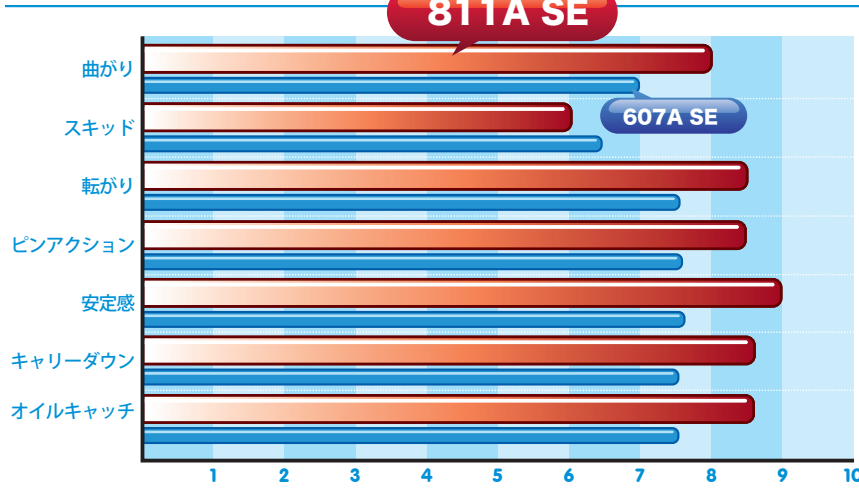
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

4 インチ



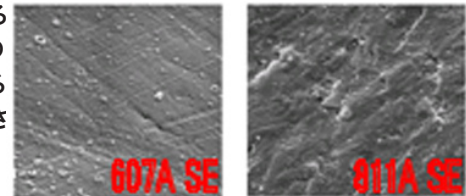
- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

初となる”8”シリーズの811A SEのために、トラック社はすべてにおいて新しいテクノロジーを駆使して607A SEの強力なバージョンになることを目指しました。”Legion 2 Turbo”の新開発の対称コアを特定の数値を得るために非対称に完全チューニングし、”811”というナンバーと”A”(Angular)で幅広いスタイルで角度のあるバックエンドの反応を与えるように設定されています。811A SEに採用されたSE8 GEN1カバーストックは全く新しい”Crystalline Mica”というトラック社独自の添加物を配合させ、607A SEでよりドライゾーンで15%以上のグリップ感をだせる添加物を使用しています。私はこの811A SEのパフォーマンスをテストするにあたり、718A・607A SEと3つのボールで多角的に検証しました。

スキッド能力は607>718>811、オイルキャッチ 811>718>607、バックエンドリアクション 811>718>607、ピンアクション811≒718>607と表現できます。曲がり方のイメージは718にみられるフリップ状のリアクション特性が明確に表れ、718よりもミッドエリアでの曲りだしの安定感が増しながら、同等以上の切れ味を感じさせてくれる、どちらかというと暴れるようなAタイプではなく、コントロールしやすいAタイプと言えると思います。”8”の強さのカバー特性でも十分なスキッドは確保できていますし、その強さはミッドエリアでの安定感で表されていますので、幅広いタイプのポウラーにさまざまなコンディションで使用して頂ける仕上がりになっています。



特記事項

新しいカバーストックとコア形状。すべてにおいて新しい811Aはテクノロジーを駆使した結晶であり、幅広いタイプのポウラー、幅広いコンディションのために高性能に仕上げられ、作成されたボールです。